

令和元年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報 告 書



日時	令和元年 11 月 12 日 (火)		
	午後 6 時 30 分～午後 8 時 50 分		
場所	麓郷集落センター		
参加者数	39 人		
市側出席者	市長	北	猛俊
	副市長	石井	隆
	教育長	近内	栄一
	総務部長	稲葉	武則
	市民生活部長	山下	俊明
	保健福祉部長	若杉	勝博
	経済部長	後藤	正紀
	建設水道部長	小野	豊
	教育部長	亀淵	雅彦
	ぶどう果樹研究所長	川上	勝義
	企画振興課長	西野	成紀

【市長 開会のあいさつ】

11月を迎え農作業は次年度の準備がはじまり、大変忙しい中お集まりいただき心からお礼を申し上げます。昨年度は鉄路の問題と新庁舎の考え方を話しました。今回はこれからの富良野市のまちそだてと地域の課題です。新庁舎の関係では基本設計の内容についての説明も行います。

JRの関係では今年の春から作業を進め、JR北海道とアクションプランということで乗車率向上に向けた取り組みと、北海道と関係する自治体が協力して臨時的緊急的な支援ということで道の負担分も含めて総額2億円の支援をしていきます。富良野市は9月の定例会で承認され今年度は150万円を支出することを決めています。今年と来年の取り組みの成果をもとに、国がJR北海道への支援内容を決めることになっています。今の流れでは、各自治体とJR、北海道による協議ですが、最終的な公共交通としてのJRの在り方は、北海道が判断を示し、その方針に各自治体が沿うというかたちになると思います。

本日のテーマ「これからの富良野市のまちそだて」は、令和3年からはじまる新しい総合計画の策定を今年と来年にかけて進めます。市民のみなさんが考える「こういうまちづくりを進めたい」「こんなことで利便性を図っていききたい」という普段の生活の中で感じている思いを可能な限り盛り込むことで、富良野市の新しい魅力や利便性の向上につなげていきたいと思っています。

【懇談会の意見と回答】

市民協働（自治会）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○麓郷振興会も年寄りが多くなってきて継続が難しくなっている。どこの町内会も同じだと思うがどのように考えているのか。	○町内会の運営を担っている人は高齢者が多いということで運営が心配だという意見を多くいただいています。町内会組織の在り方を提案してくれる町内会もあります。協働のまちづくりという視点から、今後の町内会の在り方や行政との関わりは大きな課題です。市だけで考えるのではなく、みなさんからの意見や提案を聞きながら進めていきたいと思っています。

<p>○麓郷集落センターのトイレが臭うので何とかしてほしい。</p>	<p>○地域会館は毎年2カ所ずつ計画的に修繕し、他でも、緊急を要する修繕については確認したうえで対応しています。トイレ臭気については後日改めて確認をしたうえで協議させていただきます。</p>
------------------------------------	---

市民協働（対話によるまちづくり）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○地域の意見を聞いてもらえる機会はとても貴重なこと。麓郷にはいろんな問題があるが、みんなでもっと対話をしながら決めていきます。市に助けをもらうこともあると思いますのでよろしくお願いします。</p>	

教育（幼児教育）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○あおぞら保育所がなくなるという話を聞いた。布礼別と麓郷の保育所再編のときは東部地区のあおぞら保育所になるまでに5年かかった。麓郷と東山を集めて再編する考えなのか。若い人たちが安心して子どもがつかれるように保育所は残してほしい。</p>	<p>○先週、第1回目の会合を行いました。山部、東山、麓郷の保育所の父母の会会長、保育所所長、地域振興会に集まってもらいました。この会合は、保育所をなくすことを前提にしたものではなく、子どもたちの推移を見ると令和3年には5人程度になる保育所があります。子どもの将来を考えたときに少ない人数で育つことは家庭と変わらない環境です。ある程度の人数のなかで生活することで成長が促されます。しかし地域性もありますので家庭的な保育や託児、地域の協力を得ながら運営をしていく方法など、今のうちからどういふかたちが子ども達にとって望ましいか考えていきたいと思っています。</p>

<p>○農家でパートタイムで働いていると麓郷から虹いろ保育所へ送り迎えすると働ける時間が大幅に減ることになる。へき地や少人数の課題や託児の検討もあるが、現在の幼保一体化になったあとの保育所は託児所とどんな違いがあるのか。保育所の所管が教育委員会になったのであれば ALT の先生を保育所に派遣して外国人との交流を体験させたりできないか。虹いろ保育所と比べるとへき地だからできないということもある。まずは保育の質を改善してほしい。市が転入者や移住者を増やしたいという方向であれば、今後、虹いろ保育所で待機児童が出るという問題もある。一方でへき地保育所は人数が少ないという差をどうするのかということも考えてほしい。</p>	<p>○保育の質は全体的に高めていかなければならないと考えています。会合の中では、虹いろ保育所とへき地保育所は同じ保育ができないのか。保育時間が短いので預けられないという意見も出ていますので、ニーズに合った運営方法も考えていきたいと思います。</p>
<p>○少人数だとできないこともあるのでデメリットがあるのは理解するが、少人数のメリットも見て施策を考えてほしい。少人数やへき地を好む人もいるためマッチングのために情報を発信してほしい。子育てママの農家就業があるが、働いている場所に近い保育所に預けるという方が直ぐに行けるので安心感があるのではないかと。単発的な施策を結び付けてもっと可能性のある施策を考えてほしい。人数が減ってくるものをなんとか増やして盛り上げていこうという前向きで発展的な明るい議論をしてもらいたい。</p>	

教育（学校教育）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○麓郷小中学校と布礼別小学校は将来的にどうする考えか	○地域のみなさんと相談して決める必要があると考えています。

教育（芸術文化・歴史）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○富良野は演劇工場が建って演劇としての知名度が高い。市民も演劇を身近に感じている。地元で根ざした教育的な施設で若者たちを全国から集める取り組みをしてほしい。	

教育（スポーツ）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○子どもが麓郷小中学校に通っているが、年に1回親子で行うスキー授業がある。保護者のリフト代が高く負担が大きい。富良野スキー場のリフト代が高くて市民は行きづらい。せっかく立派なスキー場があるのに高くて行けないので何か検討してもらいたい。	○スキー授業の指導にあたるボランティアには無料のパスを使ってもらっています。学校行事の対応は確認して後日連絡します。 ○富良野スキー場のリフト券は市内の小学生は無料にしてもらっています。中学生は市が助成して無料としています。富良野スキー場の好意で市民割引をしていますので、毎年継続してもらおうようお願いしているところです。

防災（防災体制）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○今年の8月に台風が来るということで麓郷街道のゲートを閉めると言われて地域に連絡したが、実際にはゲートは閉まらなかった。連絡網だけでは時間がかかり行き届かない。ゲートを閉めるときは市の広報車で周知してほしい。</p>	<p>○北海道が判断した通行止めは市に連絡が来ませんが、今年はそのような連絡は来ていません。北海道から通行止めの連絡が入り、緊急と判断されるときは市側でも周知の対応を考えたいと思いますので、振興会から市に連絡を入れてほしいと思います。</p>
<p>○道路管理者からの通行止めの情報は把握していると思うが、町道から入って富丘を經由する道路を良く使っているが、道道は土現から情報が入るが町道の情報は市で把握できるのか。広域連合という組織があるのであれば災害時の情報共有も必要ではないか。現状、情報共有が市と町でされているのか。災害時に通行止めになる場合、問い合わせに対応するだけでなく市として生活圏に周知することをしてほしい。</p>	<p>○町道の道路情報は市に入ってきません。広域での情報共有は今後進めていきたいと思っています。地域への連絡方法は今後検討したいと思います。</p>

防犯（防犯・交通安全）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○麓郷小中学校前のスクールゾーンが見えづらくなっている。来春にもう一度塗り直してほしい。</p>	<p>○現場を確認して対応したいと思います。</p>

基盤整備（交通体系・公共交通）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○富良野バスの路線バスがいつなくなるのかという不安がある。麓郷は年寄りが元気。運転免許を返納して車に乗れなくなったらこの地域で自立して生活はできない。バスがなくなったら車に乗れないとこの地域に住めないし新しい人も増えていかない。農村地域に暮らす人は何歳まで車を運転して、乗れなくなったらどうやって移動手段を確保したら良いのか教えてほしい。</p>	<p>○できることなら車を運転して、自分の行きたいところに自由に行けるような元気な体でいたいという希望もあります。高齢者ドライバーの安全対策は、新年度から取り組みを考えていきたいと思っています。市街地であればタクシーの手配ができますが、郊外になるとタクシー料金の関係で難しくなります。新たな交通手段としては、地域タクシーや地域で運行する小型車両という手法もあります。そうした情報を参考にしながら高齢者の移動手段の対策を考えていきたいと思っています。</p>

基盤整備（上下水道・河川・道路）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○拾ってきた家から学校までの歩道と車道の草刈り、観光施設の前も草刈り、観光のまちということで交通量の多い道路の草刈りをお願いしたい。砂の清掃もしてほしい。</p>	<p>○道路の路肩や歩道の草刈りについては毎年要望がでています。観光地ということもありますので対応したいと思います。砂の清掃は春先に対応したいと思います。</p>
<p>○道路管理者からの通行止めの情報は把握していると思うが、町道から入って富丘を經由する道路を良く使っているが、道道は土現から情報が入るが町道の情報は市で把握できるのか。広域連合という組織があるのであれば災害時の情報共有も必要ではないか。現状、情報共有が市と町でされているのか。災害時に通行止めになる場合、問い合わせに対応するだけでなく市として生活圏に周知することをしてほしい。</p>	<p>○町道の道路情報は市に入ってきません。広域での情報共有は今後進めていきたいと思っています。地域への連絡方法は今後検討したいと思います。</p>

産業（都市ブランド）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○富良野はワールドカップがスキー場で開催されていて注目されていたが、30年経ったら現在はニセコが逆転した。倶知安と富良野を比べると、10年や30年を見据えるとまちは大きく変わっていくと感じた。今後はニセコや倶知安に負けられないような富良野にしてほしい。</p>	<p>○富良野とニセコはスキー場からはじまったというのは同じですが、富良野は夏観光にシフトしたところがあり、スキー観光に行き届かないときもありました。ニセコや倶知安はスキー観光の誘客に励んだ結果30年経って差が開いたと思います。冬季オリンピックもニセコが会場に選ばれ僅差で富良野スキー場が負けることになりました。今後はスキーに注目している中国を起爆剤として、富良野のスキー場と観光振興に努めていきたいと思えます。ワールドカップは多くの市民の協力により10回を開催してきたことでもありますので、市民と行政が力を合わせて市の振興に努めていきたいと思えます。</p>

産業（観光）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○インバウンドが草地や畑地に無断で入ってくる。注意したいが言葉が通じない。美瑛町のような取り組みを進めてほしい。できればその場で外国人に対応できるマニュアルがあるとありがたい。</p>	<p>○観光客が農地に入ることは昔からある問題で外国人だけではありません。農地に入ってはいけないということを知らせるために、旅行会社を通じたりインターネットによる外国語の発信のほか、ホテルでは宿泊客に対してゴミ出しのマナーやルールなどを発信しています。具体的な事案の対応は随時商工観光課で対応しますので連絡をいただきたいと思います。</p>

産業（農業）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○ICT を活用した事業があるが ICT 技術は日進月歩で早いサイクルで進んでいく。活用したいと思っても事業に該当しない場合がある。機械装置は事業の対象になりやすいが、管理ソフトやクラウドを使ったものなどを事業の対象にしてほしい。</p>	<p>○トラクターの自動操舵システムからはじまったスマート農業の事業は年々対象を増やしています。ドローンや乳牛の個体管理システムも対応しています。今後も新しいものを増やしていきますので実証レベルで使えるものは農林課に相談してください。</p>

行財政運営（ICT）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○光回線はどこまで整備されているのか。 2023 年から ADSL がなくなるため、麓郷だけでなく布礼別や東山もあるが光回線を整備する必要がある。これからネット回線を利用して遠隔医療や ICT で必要になる。今後の工事予定があれば教えてほしい。</p>	<p>○NTT が整備したのは富良野市街地と山部市街地です。平成 25 年で約 1900 世帯が未整備でした。全部に整備した工事費を試算したところ 12 億円という試算をしています。平成 26 年に 1900 世帯を対象にアンケートを実施したところ 690 世帯が回答し加入するという人が 200 世帯でした。平成 29 年に整備したうち、麓郷は市街地と麓郷小中学校、あおぞら保育所、布礼別小学校までを整備し、市内で 43 キロの整備となりました。光回線が通っている道路から 150m の範囲で光回線をつなげるようになり 475 世帯がつなげるようになりました。そのうちの 111 世帯の約 2 割が加入しています。昨年度は光回線よりも 5G の方が良いのではないかという情報もありました。今年になって総務省から情報によると 2023 年度までには 5G の基盤が整備されるという一方、5G は 1 箇所の無線局で</p>

	<p>カバーできるエリアが小さいことから 4G の数十倍の基地局をつくる必要があるため、人口の少ない地域は 5G が遅れるという情報もでてきました。また、ADSL は 2023 年の 1 月 31 日で光回線が整備されたところは廃止するといわれ、NTT は光回線未整備地域の ADSL をどうするのかはまだ結論が出ていないといっています。市としても対応を検討するため、総務省の北海道総合通信局と協議しています。今の制度では無線局までの光回線整備は補助制度があると聞いています。しかし、無線は不安定ということもあり、ほかの方法はないかという検討をしているところです。</p>
<p>○アンケートの結果が少ないからやらないというのは行政の考え方ではない。民間企業が利益にならないものをやらないのはわかるが、市はインフラを整備する必要があり加入者が少ないから検討するという考え方はしないでほしい。ADSL がなくなるとインターネットが使えなくなる。遠隔医療をするのであれば無線では無理がある。</p>	
<p>○農村地域は人が少ないのでいろんなものが充実していないというのは、移住をしようとする人たちの候補にならない。多少の不便があっても小さな子どもを預けながらネット回線を使って仕事ができれば、都会から来る人はたくさんいると思う。麓郷は水も空気もおいしくて、周りの自然環境に恵まれているところ。農作物もおいしくて富良野の財産だと思っている。人口が減ってきたからインフラも必要ないという見方をしないで、若い人が希望をもって暮らせる環境を整えて人口を増やすという可能性を見据えてほしい。</p>	

【市長 閉会のあいさつ】

地域の思いや総合計画に対する思いを多くいただきました。地域の課題で急を要するもの、やれるものは直ちに対応していきたいと思えます。総合計画の関係では、経済だけではなく心も育てる必要があるとの意見もありました。

行財政運営（ICT）

保育所や学校は教育環境の整備ということで求められます。ICTを活用したさまざまな手法が実践されている中で、子どもが少なくなり小規模になっても中央と同じ教育を受けられるような遠隔教育、遠隔授業も実施可能になります。保育所でもそういう技術を活用することで人数に関わらず実施が可能になってくると思えます。そういう構想も総合計画の中で実現できるように取り組みを進めたいと思えます。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
30-39 歳	男性	・よく検討されていると感じた。市民としてはいろいろ思うところはあるが、より良くなることを願っている。
30-39 歳	男性	・通信インフラ整備に対してのんびりすぎだと感じた。2023 年が目処といる。あと 3 年だが前進していない。費用はかかるが N T T は拡大したいと聞いた。時間が無いので早くお願いしたい。
40-49 歳	女性	・外国人観光客がゴミステーションにゴミを捨てていく。近くに宿があるので散歩の途中で捨てたと思う。外国語表記で注意事項を取り付けてほしい。
40-49 歳	女性	・資料の内容は市内中心部居住の人向けでへき地居住の立場からは他の地域ごとのように感じた。 ・小さな集落も富良野市の一部として今後も広く生の声や意見を聞いてもらう機会として存続してほしい。 ・観光客を呼ぶことと同じくらい子どもからお年寄りまでの人材育てや住民育成に重点を置いた市政になってほしい。 ・将来、10年から50年を見据えて活力、魅力、希望のある富良野市になるよう期待したい
60-69 歳	男性	・小さなことでも話しを聞いてくれる機会として大切にしていきたい。
60-69 歳	女性	・これからも地域懇談会に参加して富良野の未来が未永く基本目標をめざし、実現していくことを期待している ・この会そのものが、まずはひとつを実現していると思う